

新卒者「看護過程研修」 ～個別性のある看護を実践しよう～

7月11日(木)に、新卒者を対象に「看護過程研修」を実施しました。午前は、講義を中心に患者さんを全人的に捉える視点や看護過程の一連の流れ、看護診断について理解を深めました。午後からは、事例を用いてグループワークを行い、患者さんの困りごと、気がかり、強みに着目して、アセスメント、看護診断、看護計画を立案しました。患者さんのニーズに沿った個別性のある看護実践を行う上で、患者さんが何を望んでいるのか、何を思っているのかを理解し関わっていくことが大切であると再認識していました。

講義

- ★データの持つ意味を引き出す理論・知識について理解を深めていました。
- ★新卒者は、講義を真剣に聴講し、ラベル交流では、お互いの学びを共有しました。



インタビュー演習

- ★看護師役、患者役、観察者となり、入院時の患者さんへのインタビューを想定し演習を行いました。
- ★インタビュー後には、良かった点や改善するとより良い点などをお互いにフィードバックし合い、今後の実践につながる学びが得られていました。



グループワーク

- ★事例を基に、患者さんの望みや強みを活かした、看護計画を立案していました。
- ★患者さんにとって優先される看護ケアは何か、活発な意見交換をしていたことが印象的でした。



全体会

- ★グループで話し合った看護計画について発表、質疑応答しました。新卒者は、様々な視点から学びを深めることができていました。

★8月13日から看護過程サポートを開始します。インタビューの同席、アセスメントから看護計画立案、評価までのサポートを行います。新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当